

高山病予防薬の説明書

商品名:ダイアモックス

■高山病について

高山病(high-altitude syndromes)とは高所による低酸素が原因で生じる症候群です。主に脳と肺が障害を受けます。標高2500m以上で起こりますが、1800m程度で症状がでる人がいます。症状や程度により、以下の4つに分類されます。

- ・高地性頭痛(HAH:high-altitude headache)
- ・急性高山病(AMS:acute mountain sickness)
- ・高地脳浮腫(HACE:high-altitude cerebral edema)
- ・高地肺水腫(HAPE:high-altitude pulmonary edema)

■高山病の診断

高地性頭痛:高所で起こる頭痛。酸素投与ですみやかに改善する。
他にはアセトアミノフェンの内服による対症療法を行う。

急性高山病:高所で起こる頭痛に加えて、
①消化器症状(食欲不振、吐き気、嘔吐)、②倦怠感または虚脱感、
③めまいまたはもうろう感、④睡眠障害 のうち一つを伴うもの。

高地脳浮腫:急性高山病の最終段階で精神状態の変化か運動失調を伴うもの。

高地肺水腫:急性高山病に安静時呼吸困難、咳、虚脱感または運動能力低下、胸部圧迫感または充満感のうち2つ、またはラ音、チアノーゼ、頻呼吸、頻脈のうち2つを認める場合。

■高山病の治療

- ・急性高山病の治療は、まずは症状が消失するまで登高しないこと。
- ・下山や酸素吸入。ダイアモックス250mgを1日2回内服。可搬型高気圧バックの使用。
- ・高地脳浮腫では即座に下山。もちろん一人で下山させてはいけません。

■高山病の予防

- ・ゆっくり登る。
- ・ダイアモックス(125mg) 2錠分2 朝夕内服。
- ・高地肺水腫ではダイアモックスに加えて、アダラート内服やセレベント吸入。

	ダイアモックス(250mg/錠)
【製造会社】	株式会社三和化学研究所
【適応年齢】	13歳以上。
【内服回数】	予防目的:1回125mgを1日2回。 治療目的:1回250mgを1日2回。
【1錠薬価】	18.9円(2024.4~)

※支払額については、薬価+諸経費となりますので、各種料金一覧で確認下さい。

■注意事項

予防内服では到着前日から到着後2日間内服。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。
発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。